



広島市中区医師会会報

〒730-0051 広島市中区大手町4丁目1番1号大手町平和ビル2階 TEL (082) 504-6681 FAX (082) 504-6685
ホームページ <http://nakaku.city.hiroshima.med.or.jp> 編集責任者 広島市中区医師会会長 田邊 徹行

■ 新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。先生方におかれましては平素より中区医師会の運営、事業にご協力いただき誠にありがとうございます。

昨今の社会情勢は物価高騰や政権不安、外交問題など難問山積ですが、特に我々医師にとっては厳しい逆風が吹きまくる状況が続いています。それは著しい物価高騰に対して全く追いつかない診療報酬改定のためで、医療業界の未来像は全く見えてきません。中区医師会会員も一人一人がもがき苦しんでいる有様です。このことについての政府、厚労省の対応は後手後手となっているように思えてなりません。

このような中で広島県による新病院構想も現在の経済状況を反映してその計画が二転三転しており、いまだ未確定の部分も多いようです。ただし広島県では各医師会や基幹病院との意見交換を繰り返して、より良いものにして前向きに検討していただいています。また中区医師会の上位組織である広島市医師会は医師会館の現地建て替えと医師会立看護学校の廃校を昨年決定しました。このことについても決定して終了ではなく、これから新医師会館をどのようなものにするのか、看護学校はどのような手順を踏んで円満に廃校するのかなどこれからの検討課題は多くあります。これらの重要案件以外にも、在宅医療介護連携、学術講演会、市民公開講座など中区医師会のやるべき業務はまだあります。中区医師会としてはこれらの業務も決しておろそかにはできません。

令和8年は午年です。この1年を競走馬のように颯爽とゴール目指して駆け抜ける所存ですが、農耕馬のように一步一步確実に進むことも必要かもしれません。未来のことはだれにもわかりませんが、今しばらくは頑張るつもりですので、引き続いてのご支援ご協力の程よろしくお願いたします。

■ 中区地対協住民啓発イベント 市民向け公開講座 報告

日時：11月30日(日) 10:00～

場所：大手町平和ビル5階大会議室

演題：「老いても楽しく、その人らしく

～ACPと認知症ケア市民公開講座～

講師：「老いと演劇」OiBokkeShi 菅原 直樹 氏

参加者：51名

OiBokkeShiとは俳優で介護福祉士の菅原直樹氏を中心に2014年に岡山県和気町にて設立された。看板俳優は認知症の妻を在宅で介護する岡田忠雄さん(99歳)。「老人介護の現場に演劇の知恵を、演劇の現場に老人介護の深みを」という理念のもと、高齢者や介護者と共に作る演劇公演や、認知症ケアに演劇的手法を取り入れたワークショップを実施している。



一般社団法人広島市中区医師会

会長 田邊 徹行



■中区健康よろず相談会 報告

日 時：11月30日（日）10：00～

場 所：大手町平和ビル5階

相談協力者（敬称略）

中区医師会：山本 竜、塩出 宣雄、小川 裕太郎

市歯科医師会：波田 佳範、光山 素夫

市薬剤師会：坂本 徹、合原 憲太

県看護協会中支部：柿原 由花

相談件数：31件



■乳幼児健診委員会委員と医務監との意見交換 報告

日 時：12月19日（金）19：00～

場 所：ヒルトン広島3階天満川

議 題：1. 令和8年度乳幼児健診計画表（案）について
2. 永年勤続者表彰
3. 意見交換

参加者：13名



永年勤続表彰者

早川 武敏 先生 原田 玲 先生

清永 ときよ 先生 小畠 牧人 先生

畝井 和彦 先生 森 志郎 先生

田原 昌博 先生 林谷 道子 先生

佐々木 千恵子 先生

■中区医師会からのお知らせ

第105回広島市中区医師会学術講演会

日 時：2月10日（火）19：00～

形 式：ハイブリッド形式（Web開催&現地会場）

会 場：広島市中区中町7-22 住友生命広島平和大通りビル6F エーザイ広島オフィス

座 長：サザンクリニック整形外科・内科 副院長 山本 尚子 先生

演 題：『地域で支える認知症ケア～早期の気づきと連携の力～』

演 者：井門ゆかり脳神経内科クリニック 院長 井門 ゆかり 先生

第14回広島市中区医師会 医業経営講演会

日 時：3月13日（金）19：00～

形 式：ハイブリッド形式（Web開催&現地会場（定員60名））

会 場：大手町平和ビル5F 大会議室

演 題：『2026年度診療報酬改定について』

演 者：ティーエスアルフレッサ株式会社

地域アクセス・コンサルティング部 小椋 頌太 氏